

潮流実証実験のお知らせ

一般社団法人早崎潮流発電推進研究会（南島原市、代表相川武利）は、11月26日（日）に南島原市口之津港沖の海域で潮流発電の実証実験を行う。

実験機（HSPG1号）は、日本財団の支援を受けて、日本大学理工学部居駒知樹教授と共同開発したもの。実験期間は2週間を予定しており、（株）商船三井（東京都港区虎ノ門）も参画している。

同研究会は、潮流発電に関してわが国の創発の技術で、世界で競争できる実用技術を開発することを目指している。今回の実験機は、縦軸水車の回転翼の角度を流速に応じて変えることで、高い発電効率を達成することを期待している。

潮流エネルギーは、月および地球の引力と自転遠心力を主起源として毎日上げ潮、下げ潮計4回発生し、天候に左右されにくく、予測可能性、確実性、安定性に優れている。特に海岸線や海底起伏に富むわが国では、潮流エネルギーのポテンシャルは大きく、固有の潮流発電技術を確立できれば、エネルギー安全保障上もその意義は大きい。

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

潮流発電実証実験

11月26日~12月10日(予定)

口之津宮崎鼻沖

HSPG-1

Hayasaki Stream Power Generator #1

早崎潮流発電推進研究会

【共同研究先】 日本大学 商船三井
【支援先】 日本財団 南島原市 古野電気 新田鐵工所
中島建設 安達 澤山商会 ほか

11月24日（金）16時に実験機命名式、記念撮影、記者会見を口之津港野積岸壁にて行う予定（詳しくは、info@hayasaki-stream.or.jp 研究会事務局まで）。